緑丘新聞

發行所　小樽商科大學　新聞部
編輯發行人　齊藤敏夫
印刷所　角印刷所
印刷人　角榮

學生生活實態調査

學生部厚生課調査

經費平均約五千圓
學生食堂希望者多し

昨年十二月學生部厚生課が行つた學生々活實態調査の結果が「臨時調査報告書」として此度發表された。實施の對象は全緑丘學生に亘つて行はれたが專三年は調査表を提出せる者が少數であつたため本報告より除外された。居住所、生活費、アルバイト、厚生施設の四項目よりなる報告書による學生々活の實態は？

○調査表を提出せるもの、

	學生總數	提出者
大一年	一五四	一三三
專二年	九四	八一
同三年	一九四	五九
大一年及び專二年	二四八	二一四

Ⅰ、居住所

小樽市内居住者が壓倒的に多く、市外居住者は全体の二〇%弱である。又市內居住者も經濟的な理由から寄宿生が多く市內居住者の四六%を占め自宅通學生(三六%強)下宿生(一八%弱)と續いてゐる。下宿も知人、素人下宿、親戚とあるが變つた所では旅館に下宿してゐる者が一名ゐる。小樽市外よりの通學生は自宅が多く下宿は一〇%弱を占めてゐるにすぎない。

○小樽市内通學生　一六三
1.自宅　六〇
2.下宿　二七
3.寄宿舎　七六
・小樽市外　五九

Ⅱ、生活費

本調査の主眼とも目される本項は、種々の興味ある問題を含んでゐる。

生活費の最低は食費を含まない關係上やはり自宅通學生であり一ケ月平均一、五〇〇圓程度であり、下宿生は一ケ月平均五、〇〇〇圓程度であるが最高は九、〇〇〇圓で、そこら邊の會社の初任給を上廻るやうな者さえある。下宿生最低の生活費は八〇〇圓であるが、これは親戚に下宿してゐる爲下宿料不要のものである。又家庭教師に入り、下宿料が只の者が三名ある。寄宿舎は最高額六千圓最低額二千五百圓と最高と最低の差が自宅通學生、下宿生に比して少く、平均では四千圓位であ[illegible]、下宿生との差が案外少い事が注目される。

×　×　×

生活費の内訳は、圖書費、娯樂費、下宿生の下宿料、寄宿舎生の寮費、主食補給費、副食補給費とに分類されてゐるのみであるからその大略を[illegible]。

圖書費は自宅生、下宿生、寮生共大体六百圓前後であり月に二册程度といふ所であらう。しかし圖書費の最高三千圓といふ勉強家もゐる。

娯樂費は、自宅通學生、寄宿舎生に比して下宿生は、さすがに多く、最高額で二〇〇〇圓、平均でも五八七圓と、[illegible]事を見てゐると、概して商大生は娯樂より少い。

下宿料の最高額は四八〇〇圓、最低が一七〇〇圓となつて居り、又下宿料不要のものが四名ゐる。

寄宿舎生については、寮費が最高一八五〇圓、最低一〇〇〇圓と非常に少い。しかしこの外に、主食補給費、副食補給費が千圓前後(平均)となつて居り、案外馬鹿にならない額を占めてゐる。

○實圖

1.自宅通學生　市內六〇名　市外四六名　計一〇六名
　最高額　五五〇〇圓
　最低額　二〇〇〇圓
　平均　一四九四圓
　圖書費　平均　五九七圓
　娯樂費　同　三九七圓
　その他　同　六五〇圓

2.下宿通學生　市內　二七　市外　五　計　三二
　最高額　九、〇〇〇圓
　最低額　八〇〇圓
　平均　四、九五六圓
　下宿料　平均　三、三〇七圓
　圖書費　同　五八七圓
　娯樂費　同　八八八圓

3.寄宿舎生　[illegible]
　最高額　六、〇〇〇圓
　最低額　二、五〇〇圓
　平均　[illegible]
　寮費　平均　一一五三圓
　主食補給費　平均　七五九圓
　副食補給費　同　四八三圓
　圖書費　平均　六〇九圓
　娯樂費　同　三九三圓
　その他　同　六八六圓

(註)
1.下宿料に含む主食補給の米は一升一五〇圓と換算する。
2.その他には醫療費スポーツ費を含む。

Ⅲ、アルバイト

戰後の學生々活を特色づけるアルバイトは本學に於ても七二%弱が現在やつてゐるもの及び經驗のあるものとなり將來やりたいものを合すると殆どすべてが含まれる。又寄宿舎學生は殆どすべてがアルバイト經驗者であるのに反して自宅通學生及び下宿生は殆どその半數がアルバイトの必要がない模樣である。又現在やつてゐる者の職種は家庭教師の一六名を筆頭に丸通荷物運搬一〇名、肉体勞働とのみ記した者五名その外事務補助、店員、變り種では公務員(小樽世帯調査)、體育コーチ、通譯、[illegible]等がある。又アルバイトの收入は職種によりまちまちであるが、最高は通譯の七〇〇〇圓家庭教師の收入は思つたより少く四千圓を[illegible]に五〇〇圓迄、下宿生食費料といふのもある。その他は平均二千圓といふ所である。又經專生と商大生のアルバイト經驗者を比較して見ると前者は七三%後者は七〇%と[illegible]の差は少い。

○アルバイト
1.現在してゐる者　五二
2.現在やつてゐない者　一五二
　○その理由
　仕事がない　五五
　必要がない　四〇
　記入なし　五七
3.以前やつた事のある者　一〇二
4.將來やりたい者　八二
5.全然記入者　一〇〇

現在やつてゐるアルバイト
a 家庭教師　一六名
　收入平均　九五〇圓
b 丸通荷物運搬　一〇名
　收入平均　三四五〇圓
c 肉体勞働　五名
　平均收入　一二〇〇圓
d 事務補助　四名
e 店員　四名
f 飜譯員　二名
g 紡績監視　二名
公務員、集会、体育コーチ、[illegible]、通譯、各々一名

Ⅳ、厚生施設

どのやうな厚生施設を早く作ればよいかこの問に對して昨年來學生ホールを要求し、又荒れ果てた山寺のやうな寮や物置小屋[illegible]とした、名ばかりの開店休業しか持たぬ本學の學生は、學生食堂の設立を最も強く要望してゐる。ついで、生活協同組合設備施設、圖書等が強く要望されてゐる。又この項に現はれた[illegible]寄宿舎會館の設置は別々と工事は勤められ、現在修繕所は地下室側に作られ、寄宿舎部長は[illegible]の許可を待つばかりとなつてゐる。

○どのやうな施設を早く作ればよいか。

學生食堂	一三三
生活協同組合賣店	九五
醫療設備	六六
理髪所	五二
喫茶店	四七
[illegible]所	二二

○以上の外どんな施設が望まれるか。

体育館設備用具の完備	四三
學生集會所	九
音樂鑑賞室	八
ピアノ備付	四
寄宿舎新築	三
[illegible]	二
喫茶店	二

給湯施設、ダンスホール、教室改善、便所改善、掲示板、各々一名

圖書の館外貸出許可

オツヴア　ホリデイ

日頃の懸案であつた圖書館開館圖書の一般學生への館外貸出は休暇明けの二月四日より實施され盛んに利用されてゐる。これは昨年度來の二度の輿論調査に於て學生全般の意向としてその實現が望まれてゐたもので、現在迄は教職員及びゼミナール關係以外には館外貸出が禁止されてゐた。

貸出は土曜日午後から月曜日午前まで(祝日も之に準ずる)和書に限つて貸出され、いはゆるオヴアホリデイの制度である。又濟究圖書が教職員學生(ゼミナール)に貸出中のもので期限經過後のものは直ちに返還を受け新たな希望者に貸出される。

尚[illegible]に寄託圖書六三八冊の臨時一般閲覽を開始した。經濟研究所寄附圖書及び[illegible]文庫の整理も着々進行してゐるからまもなく閲覽に供される。

讀まれぬ經濟書

最近の圖書館

最近の學生の圖書館利用狀況はどうだらう。閲覽者はこゝ四五日は、百名、全學生の十分の一強を數へてゐる。試驗が近いせいか利用者は殆どなく專ら、經專生と商大生が利用してゐる。毎日平均五〇冊が貸出され、閲覽圖書を部門別に見ると經濟關係は意外にも少く毎日四五冊程度であるのに文學は毎日十數冊以上で最高、哲學、法律が次いでゐる。

和書洋書別に見ると、洋書の貸出は殆どなく、和書が全貸出圖書中八〇%を占めてゐる。

新着圖書

本學圖書館
(24・12・25―1の分)

小宮敬太郎、ヘッセン、經濟政策と安定原理。經濟同友會編、現代經濟學原論。東洋經濟新報社刊、新しい經濟學Ⅰ Ⅱ。除野信道著、世界經濟の地域構造。林健太郎著、GM トレヴェリアン、英國社會史 河田潔譯、日本資本主義發達史年表。大河内一男著、國民經濟政策思想史上。青山秀夫著、經濟變動論の研究Ⅰ。ケインズ研究會編、ケインズ經濟學研究。名和統一著、國際價値論研究。山口茂著、國行論。勞働科學研究所編、勞働科學辭典。中村武著、有價證券法概論。横田喜三郎著、國際法の基礎理論。矢口孝次郎著、イギリス封建社會經濟史。西田幾太郎著作集Ⅲ卷。三木清著作集Ⅲ卷。北川敏男著、統計學の認識。[illegible]著、資本論の研究。井藤半彌著、社會政策論。一橋大學新聞部編、勞働經濟の研究。[illegible]經濟學史論。米田庄太郎著、[illegible]私法の基礎。有坂潤、戰後日本經濟の諸問題。[illegible]著、法と人間。西山政造著日本に於ける近代政治學の發達。GINN & COMPANY THE THEORY OF REAL VARIABLES (VOL) PIERPONT 外月五十部の雜誌を購入してゐる。

學生食堂いよいよ設置

學生部厚生課では〃學生食堂(假稱)〃を[illegible]に設立すると發表した。

これは昨年春〃學生ホール〃焼失以來學生の氣軽に休む休憩所もなく喫食も教室や圖書館の片すみでこそ〳〵食べてゐる現狀で強く設立の望まれてゐたものである。

場所は[illegible]とりあえず[illegible]休憩所としてストーヴとる[illegible]お客のサーヴイスを始め利用の設況によつて除々にうどん〃パンヂユウ〃も安くて喜ばれるものを用意する。

これに就いて八日學生部と學生代表として自治委員會、共濟組合との話し合ひが行はれたが、學生側から家庭的な雰[illegible]に學生のためのものたる事など設置があり次いで話題は厚生會と共濟組合に移り共濟組合側から厚生會への統合の要[illegible]などもあつた。

活潑なる厚生會

厚生會も其の後順調に發展し毎日入荷されるパン百個も賣切れるやうな盛況である。四日より寄宿の三割引で學内に販賣所をもうけた。この方はまだ宣傳が不足のせいかまだひまで日に數名のお客さんである。

めざましい活躍の厚生會の某日專務理事は次の如く語つた。

何にしろ職員は全く職員だけなので容易な事でありません。あめ、せんべい等から小さく始めました。利用者も段々増えて來たので煙草、お茶、化粧品、石鹸、洗濯、パン類など揃えて見ましたが相當消化されるやうになりました。只便宜の面だけでなく福利の面の宣傳をも擧げるためには何としても先輩同窓の御協力がなくては出來ません。厚生會の最大の[illegible]は學生食堂の設立です。このやうに學生諸君のためにも力を入れてゐますから惜しみない協力をお願いします。

×　×　×

論説

矛盾の認識と知性

眞實への道か　妥協への道か

由來學生とは純眞なる者の代名詞の如くに思はれて來た。然し最近の學生はりこうになつたと言はれる。換言すれば所謂「大人」になつたと言ふ意味である。「大人」は自己の眞實を能ふ限り押へて妥協への道を選ぶ。そこに會社員として求めらるのは所謂「處世術」と稱ぜられる。學生がりこうになつたとは斯かる處世術に長けて來たと言ふのと同義である。

此の批評は餘りにも痛く我々を衝いて居る。そこには現代の學生への嘲笑が明かに讀ぜられて居るのを我々は認めざるを得ないであらう。然らば最近の學生は何故に「大人」となり「りこう」になつたのか？

我々はそれが「生きる爲の必然の推移であつた」と言ふ返答がなされるであろう事を豫想する。確かに此の事實の中にはその樣な返答がなされるだけの理由が存在する。一例をあげよう。

幸ひにして今年度卒業生の就職は[illegible]居る。然し就職には試驗が存在し此の試驗の中に看過すべからざる問題が存在するのである。學生の多くは大學に學ぶ事は純粹に眞理の探求の爲であると主張するに相違ない。然し乍ら彼等も生活の爲には就職を選ばなくてはならないのである。その彼等の面前に第一に突きつけられる條件は何か？　曰く「思想穏健なる者を」之である。思想穏健が具体的に何を意味して居るかは今更喋々する迄もないであらう。自己の眞實を就職試驗に際して吐露したりとすれば彼は忽ちにして生存の脅威にさらされる事は餘りにも明かである。斯くて此の場合彼は自己の眞實に生きるか生存の脅威に身を任すか[illegible]妥協への道を選ぶかの「あれかこれか」に直面せしめられる。生きる事と自己の眞實との絶對的な矛盾に喘ぎ乍らも遂に彼は生きる爲に「妥協」への道にかけねばならなくなるのだ。此の事實を我々は悲しくも認めなければならない。誠に斯かる「思想穏健」なる奇体な怪物は我々の學生々活を身動きさせぬ迄に縛り上げて居る事實を我々は身を以て體驗して居る。大學は眞理の殿堂であり、自由の國である事を本質とするならば一体誠の大學は日本の何處に存在するのだと我々は叫ばないでは居られないであらう。學園の自治自体が既に我々を我々の眞實から引き離して居り、學園の孤立つ時には決定的な妥協が強ひられるのである。現代の學生が「りこう」になつた理由は將に此の事實の中に存するであらう。

然し我々は以上の事實を確認すると同時に再び學生の特性が如何な所にあるかを想起せねばならない。我々の知性は此の悲しむべき事實を不可避の事實として放置しておく事を許さないであらう。

我々は斯かる矛盾を一掃する爲に奮ひ立たねばならない。如何に歪められたりとは言へ矛盾を矛盾として認識に屈服し得る者は我々學生をおいて他にあり得ない。今ほど我々が「自分の自分」にならなくてはならぬ時はないと言へるであらう。我々にしても今も何時ての日に於ける如く權力に追從する自己欺瞞的な意識から脱却し得ずとするならば如何なる權力が我々を待ち受けて居るかは言ふ迄も無い事に思はれる。「大人」は言ふかもしれない。「若者は若い」……と。然し我々は斷然と答へよう「確かに青年の主張は往々にして正しくない事があり得る。然し青年がそれを主張する事は正しいのだ」と。

嬉しい悲鳴

まだ來る就職申込

[illegible]の如く常識を超えた[illegible]しい新卒業生の就職狀況の其の後は……

求人が卒業生の二倍と言ふ數に會都需要に應ずる事が出來ずやむなく斷ると言ふ狀況であつたが、其の後も次々と求人申込が到着し斷るのに學生部も嬉しい悲鳴である。現在の所では舊制大學受驗者の就職問題のみが殘つてゐる。

これに反し、新卒業生で就職を希望する者が増加したが、日發の方の求人申込はほとんどなく、頭を惱して奔走してゐるが思はしくないとの事である。

商大入試

願書殺到始まる

現在昭和二十五年本學入學試驗書類に入試要項は本月一日より申込によつて教務課から發送中であるが、現在の所二千部以上の申込が各地から來てゐる。このうち何割が受驗するかは問題となるが現在來たうちで數の多いのをひろつて見ると、[illegible]三十部以上[illegible]見澤高、函館高、樽商高、岩見澤高等十校を超え、女子では小樽安高二十部をトップに札[illegible]等が續いてゐる。又遠い所では廣島、大阪、佐渡ヶ島等からも問合せがありこの分では、豫想以上に志願者が殺到し例年とは比較にならぬ激しい競爭になるのではないかと見られてゐる。

YMCA

本學YMCAでは市内各學校に呼びかけて高校YMCA(ハイY)を結成するため準備會を開く又二月十九日は一八九五年W・S・C・F(世界キリスト教學生連盟)が創立されて以來の世界學生祈禱日であり今年度は全日本の共同者學生がこれに參加する。本學Yでもこれに參加すると共にその前後にこれを記念して市內學校YMCA總拜を守り同時にハイY結成準備のため懇談する。又今年度入試受驗者の宿所の斡旋の勞をとるから希望者は大學内YMCA宛申込まれたいとの事である。

記念論文集

第二分册に就て

小樽商科大學記念論文集第一分冊は過日發行されたが近く第二分冊が發行されるので特に第一分冊購入者の便宜を圖る爲に兩分冊纏めて豫約募集する事になつた。緑丘會員各位は奮つて此の論文集を求められ緑丘學園の學問の發展に注目せらるゝ樣。尚價格發行豫定期間は次號に掲載の豫定

新任獨語講師に

フーバー氏

新らしく丘にのぼる

デンケル講師轉職の後、ドイツ語講師としてアロイス・ゲルハルト・フーベル講師が目下手續き中である。

一八九六年ドイツに生れオランダのフルダ大神學校神學科哲學科を卒業、一九二八年宣教師として來邦以來一九四六年迄[illegible]會長職[illegible]であつた。

ドイツ語の著書九册の外に日本語の著書も數册あり特に[illegible]著切支丹史が有名であるなほ著書十册を圖書館に寄贈した。

安宅氏の新簿記理論

アメリカで承認か？

パチオリの〃ズンマ・アリスメチカ〃以來の貸方、借方の複式簿記學說は學界の定說として金科玉條の如く守られて來たが、これを根本から覆す新理論を本學卒業生實業家二十五年間の研究の結果昨年學界に發表せんとしたが、狭い日本の學界から默殺された形であつた安宅氏の〃事業資金流動說〃が米國學界に認められつゝある。

本學第十二回卒業生(大正十四年卒)安宅文雄氏は、現在同氏の母校である縣立小樽商業高等學校校長として活躍してゐるが、昭和三年、同校の簿記科に教鞭をとつて以來常に複式簿記理論の研究を續けてゐたが、昭和十三年には複式簿記理解の鍵としての「事業資金」概念の必要性を力說して、當時の「商業商工課內」に設けられた「中小商業振興委員會」の委員として、その概念を取入れた「商品商品簿記法」を同委員會名を以て發行し、その所信を明かにしたのである。この當時の考へ方はミックリッシュの貸借對照表理論に於ける「資本」概念を「事業資金」概念におきかへる事によつて分析的な觀點を綜合的な觀點とする事が出來たのであるが、更に昭和二十三年末にはこれを論理的に把握する事に成功し、新しい簿記理論を完成、二十年來の宿願をとげた。

それは事業資金流動說とも云ふべきもので複式簿記發生以來四百年間の諸學說が貸方と借方または負債と資本といつた二元的な考え方を基礎としてきたのに對し、氏は事業經營はこれを內面的に見れば一元的な「事業資金の循環消費」にすぎないとして、これを貸方より借方への流れとして帳簿に二面的記錄を行ふのが複式簿記だとする立場をとつてゐる。

この見方からすれば從來資本とされてゐた記帳における「貸方」「借方」の二元記錄の理解も簿記上の區別はすべて、事業資金の流れで、それが、「流入」「流用」(運用)―「流出」の三つの作用を持つて、A勘定の貸方よりB勘定の借方への流れとして記錄される点、從來の時間表の如く事業資金の調達は資金の流入で、資本金勘定(貸方)、現金勘定(借方)と記錄されるから初學者にも容易に理解されるとゝもに、從來の說明は根本的に改められる。

同氏はこの理論を「事業資金の流れ」を中心とする簿記理論の提唱」と題して商工教育資料(二十四年、六月號)に發表し、又これに續き、學校教育ばかりでなく各種の研修會でも好成績をおさめたが昨年七月小樽で行はれた全國[illegible]臨時大會には、參加者多數の爲會誌發表出來ず、次いで九月神戸で行はれた會計學會では時日でなかつた爲、正式發表が出來ず、[illegible]をかこつてゐたが、偶然、同會上で見た、米國會計學會々報「Accounting Review」誌上に、カリフォルニア大學助教授A.B.Carson氏により、資金流動說に非常に似通つた理論が"The source and application of funds philosophy of [illegible]"

さらに、從來簿記は事業經營の手段として記帳係に一任、日常の經營は「カン」で行ひ經營試算表も單なる算術方法として漸次的に行はれてゐたが、この經營試算表こそは日常經營狀況の一覽表としての[illegible]

[illegible]の貸方は事業資金の流入理由を說明し、借方は事業資金の運用形態[illegible]

[illegible]昨年十二月、論文に翻譯し、〃Carson助教授に意見の交換を求めたところ、この程、同氏から、同封の論文二部を同封した懇切な書信が屆いた。

それには『日本の高等學校の先生がみんな、貴方のような方だとするならば、私は貴國の教育制度に新たな敬意を[illegible]』と讃辭を寄せついて、安宅氏の理論について、「私は貴方の說に贊成しやうと思ふ」と同說して「資金といふ語の[illegible]專門的論議を續け[illegible]教育の上に好都合、かつ容易な方法であるけれども[illegible]複式簿記に對する貴方の考へが[illegible]今後もお予職や論文をお送り下されば辛ひです。』と結んであつた。

◇安宅文雄氏談◇

二十年の苦心の末完成した私の理論は、私共高校の一教師であるため、封建的な日本の學界では到底認められないと諦めて居りましたから、米國に認められたことは[illegible]ましたが、意見の一致した人がゐて心強ひでした。」と元氣に語つた。

新裝なつた新研究所(舊商品館階上)

進學熱旺盛！

二割が舊制大學へ

本年度の舊制大學受驗者は八日現在大体まとまつた。

○一橋大學東京商科大學
　(同)舊、卒　六名
　(同)今年度卒　十七名
○京都大學經濟學部　[illegible]
○東京大學法學部、經濟學部　五名
　(同)　三名
　(同)　一名
○神戸經濟大學　一名
　(同)　二名
○東北大學經濟學部　二名
　(同)　一名
○北海道大學法文學部　三名
　(同)　五名
○慶應義塾大學　十二名
　(同)　二名

許今年度卒業者中四十名(四〇%)舊卒二十三名合計六十三名が最後の舊制大學を目ざしてゐる。

目だつ

中小企業問題

商業學業論文締切る

今年度の卒業論文は二月始めに締切られたが、そのうち商學關係(宗谷、岡本ゼミ)[illegible]題、さすがに經濟問題の研究者が多く、勞働問題、國內經濟がこれについてゐる。岡本ゼミは總數十四、そのうち半數近くが中小企業問題を研究してゐる。

一我が國中小企業の基本性格
一中小商業の諸問題
一我が國中小商業に於ける人口問題の一考察
一中小企業金融の諸問題
一中小産業の金融問題
一經濟民主化と中小企業

その外、經營者論二、協同組合に關するもの二、生計費について二、株式會社と海上保險が各々一となつてゐる。

懸賞論文入賞發表

經濟研究會の懸賞論文入賞者は十六日次の通り決定した。

一等、二等なし
三等　經濟倫理學に就ての一考察　三A　宮内稔子
佳作
　スミス賃金論の一考察　三C　太田[illegible]
　矛盾の概念より見たる辨證法　三A　長田久夫

學內短信

▽岡本教授著書△

岡本理一教授は同文館より〃社會化配給論〃B6判、一九二頁、一八〇圓を出版した。

▽緑苑創刊號△

文藝部發行の學園雜誌〃緑苑〃が發行、小說三篇詩歌エツセイ等で松尾、峰村教授も寄稿してゐる。

▽風呂は今月末

二月三日に始められてゐた寄宿及び附近共同浴場の工事は豫定通り一月末に完成し試運轉を待つばかりとなつたが肝心の水揚げポンプモーターの用電力の制許可が下りず使用開始は今月末になる見込。

▽合唱部公演△

十二日小樽合唱連盟主催合唱研究會に於て合唱部合唱團も出場した。曲目マイ・オールド・ケンタッキー・ホーム(課題曲)[illegible]

▽室谷、花村教授△

一時健康を害され病床にあつた、室谷、花村の兩教授も昨年來より講義を再開されたが[illegible]先生とも元氣で講義されてゐる。

×　×　×

行事豫定

○二月十四日―二十日　經專、臨教、學部試驗
○二月二十一日―三月十五日　入學願書受付
○二月二十八日　卒業者氏名發表
○三月三日　經專卒業式　臨教修了式
○三月九日　追試者發表
○三月十一日　商大學年試驗時間割發表
○三月十三日　商大ゼミガイダンス
○三月二十八日　商大ゼミ新聞締切
○四月一日―三日　入試
○四月六日―十五日　商大學年試驗
○四月十三日　合格者發表
○四月十七日　經專新學年時間割發表
○四月二十九日　經專新學年開講
○五月一日　宣誓式
○五月一日―四日　商大時間割發表　ガイダンス
○五月五日　商大一、二年開講

焦點

昭和二十三年二月大學基準協會の手に成つた大學基準の一に大學の目的として「最高の教育機關」として「學術文化の研究機關」である事は當然[illegible]

[illegible]學問の「場」なのである。(俊)

登別えお出の節は
[illegible]
サンキュウ商店

小樽商科大學
昭和二十五年度入學者募集

第一、募集人員　約一四〇名
第二、出願期日　自二月二十一日　至三月十五日
第四、出願手續
1.入學願書
2.出身學校長の調査書
3.入學檢定料　四〇〇圓
4.寫眞
5.受驗票送付用並に合格通知用封筒二通
第五、試驗日時及試驗科目

試驗日時	教科	科目
四月一日(土) 自九・〇〇 至一〇・三〇	外國語	英語
自一一・〇〇 至一二・三〇	社會	一般社會、日本史、東洋史、西洋史、世界史、人文地理、時事問題
四月二日(日) 自九・〇〇 至一〇・三〇	理科	物理、化學、生物、地學
自一一・〇〇 至一二・三〇	數學又は簿記	一般數學、解析1、解析2、幾何、簿記
四月三日(月) 自九・〇〇 至一〇・三〇	國語	國語
自一一・〇〇	身体檢査	

第六、試驗場　本學
第七、合格者發表
四月十三日合格者氏名を學內に掲示する、
小樽市緑町五丁目番外地
小樽商科大學
電話　四九五〇番

岡本理一著
社會化配給論【最新刊】
(經營學研究選書)
(定價一〇〇圓　〒二五圓)
―社會化と配給組織―

本書の「はしがき」より―社會化された經濟社會において配給組織はいかなる形態をとるか。またその經營の方向は如何。これはまさに今日の我が配給論界に與えられた一つの課題たるを失わないであろう。―(中略)―本書はかゝる課題の解決に資せんため著者の最近の研究をまとめ―勞作の明日への展開を期したものである。

發行所　東京都千代田區神田神保町一
株式會社　同文館
振替・東京一三五

緑苑
久しく埋もれてゐた緑丘文藝部の
再刊第一號成る

内容
創作―海鳴　井田章
　灰色の季節　竹生輝
　夕闇　菅木林兒
　謎　中根信雄
記錄　松尾正路
近詠　峯村文人
詩―夜の海　大西公平
　春光　宮島遙
　夜曲　前田篤
　秋夜　橫山準
隨想　源氏物語の現代性　村上清輝
短歌　[illegible]短歌同好會

次號豫告
五月初旬第二號發行豫定
特に文藝評論家伊藤整氏の執筆を期待して次回の内容を充實す。

A5判　32頁　定價35圓　昭和25年2月11日發行

古川榮一　責任編集
經營學研究選書

[illegible]アメリカ經營學　古川榮一著
株式會社と經營者　富利直臣著
アメリカ獨占禁止法　磯邊容一著
アメリカに於ける內部監査制度　青木茂男著
經營組織論　大木秀男著
經營協議會論　高宮晉著
株式制度論　番場嘉一郎著
經營簡素の原理　清水晶著
中小工業と經營合理化　末松玄六著
會社金融論　岡村正人著
經營分析　野瀬新藏著
會計學の根本原理　木村重義著
社會化配給論　岡本理一著
(以下續刊)

東京・神田　同文館　振替東京[illegible]

人は來り人は行く

小林象三

この題目はアルフレッド テニスンの詩「小川」の中の一句である。

かくて私は來りかつ行く數多くの同僚の散ぎ歸るをくりかへしつゝ、こゝに私の順番がきたのである。私の場合には來りかつ行く間に滿廿年を要したのである。

滿廿年！　長いといふべきか、短いといふべきか？

私は一九二〇年（大正九年）から一九五〇年まで滿廿年間小樽高商、小樽經專、小樽商大につとめた。すなはち初代校長渡邊龍聖ザ グレイト二代校長伴房次郎ザ グッド三代校長苫米地英俊ザ エイブル四代校長大野純一ザ スインスイアと四代の校長のもとに勤續した。そして近く母校京都大學（教養部）へ轉任しやうとしてゐる。もと／＼私は一九一二年春まで花園小學校、庁立小樽中學校の生徒として數年を小樽ですごしてゐる。一生の約四十年間を暮した小樽――一男三女を與へられ、かつ失つた小樽を去らんとしてゐる。のんきな私にも萬感交々湧り、感慨無量といふ有樣である。

私の轉任につき、もと北大總長高岡熊雄博士、今裕博士をはじめ、歸國せんとして多忙な詩人エドマンド ブランデン先生からもお目出たうとお祝の言葉をいたゞいてゐるが、時々「どうしておかはりになりますか」と尋ねる人々に出あふ。この人々は、他の先生はいざしらず、私だけは小樽で一生を終ることゝ考へてゐたのであるらしい。しかし事實私はこれまで一生小樽にゐますと云つたことはない。

名古屋高商の初代校長として赴任することになつてゐた渡邊さんは、轉任の前日まで「我輩は骨を小樽に埋める覺悟である」といはれたが、このやうな芝居は直情者の私には出來ない藝當である。

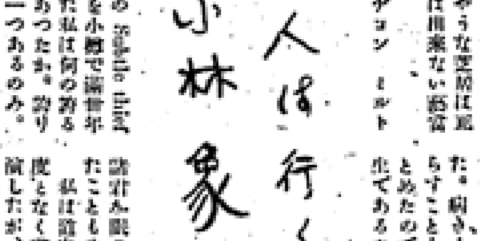
さて詩聖ヂョン ミルトンの「青春の Sabrina fair」と呼ぶ時を小樽で滿廿年間も、殘つた私は何の誇るべきことがあつたか。誇り得る事は只一つあるのみ。この學校の教授時間數のレコードホルダーであることである。もと／＼授業時間數の多い英語の先生として、この學校で滿廿年つとめたのである。この間、これといふ病氣もせず、一度の長期欠勤もなく（このことは學生諸君にはありがた迷惑であつたかもしれないが）つとめた。病氣もなく、教室にまさ散らすこともなく、健康でつとめたのである。英語の先生であるので、教室で學生諸君を眠りにおちいらしめたことも少いと思ふ。

私は道内のあちこちで幾度となく英語の先生諸に講演したが、その都度「學校の先生の中で最大數のオスティクスをつくるのは英語の先生である」といふのを常とした。實に英語の先生ほど數多くの同窓を數へる先生はないであらう。自らかへりみて滿廿年を一瞬間しか年からはなされないことをしみ／＼感じてゐる。私ははじめ十年間つとめて、英國へ在外研究に出かける幸をもつた。在英二年間英語の勉強のやり直しをしたのである。歸朝後はや、少しくほんとの英語の先生らしくなつたのかもしれない。それで留學に出かける以前の十年間に教へた緑丘の諸君には、あまりに未熟な教授振りであつたことを本まとに相すまぬことゝ思つてゐる。さて近年の學生諸君は昔の卒業生よりも英語がよく出來るやうになつたであらうか。私はここにイエスともノウとも答へずにおかう。

私の小樽高商滿廿年間の思ひ出に、一生忘れられないことは、赴任の翌年一九二一年から毎秋の外語劇大會に英語劇を指導したことである。これに費した時間はそもいくばくであつたらう。ダンセイニ卿の「山の神々」「神々の笑」「宿の一夜」をはじめ、ゴールズワアーズイの「爭鬪」ヂエイムズ バリーの「あつぱれクライトン」「レイト ナイト ファイナル」「まだらのひも」、「アズレイナ」エドガ ウオレスの探偵物、シェリフの「旅の果」シェイクスピアのヴェニスの商人等々の上演は緑丘學園の歴史に永久に殘ることであらう。經濟學者でかつスキーの大家高橋次郎君、商業英語の末竹榮作教授や大阪の法學博士實方正雄君等の緑丘生時代に英語劇に出ていたゞいたことは、まことに愉快な思ひ出である。

さて私はいよ／＼京都大學へ歸ることになつたが、恩師ダアク、厨川の二教授が既にこの世においでにならぬことはまことに／＼殘念至極のことである。さはれ元氣よく[illegible]のスタートをきらうとしてゐる。十四行詩の研究、チョーサーの研究、散文の批評の研究、[illegible]のアーサ王物語の研究等々完成すべきものが余りに多い。いざさらば、緑丘の諸君よ私はこゝにチアールズ ラムがその隨筆集に引用してゐるラテン語の一句「エスト ペペテユア」（この家の永遠に繁榮せんことを）をもつて擱筆することゝする。

二、一一、一九五〇



シュムペーター先生の追憶

早川三代治

一九五〇年新春早々の新聞が、こゝで「シュムペーター」の名を[illegible]は一月八日朝シュムペーター先生がコネチカット州タコニツクの自宅で六十六才をもつて永眠されたことを報じた。私は胸のおしつぶされる思ひであつた。

折りから新刊の季刊「理論經濟學」誌上で長文[illegible]中山伊知郎教授の[illegible]「ヨーゼフ シュムペーター」を讀んで間もないことゝて、あたかも追憶論文に接したような生々しい感じであつた。「緑丘」編輯部員から求めらるゝまゝに、二三の追憶を拾つて亡師への追憶の一端としよう。

………○………

私が「Schumpeter」の姓名を知つたのは一つの偶然であつたとも思はれる。一九二二年（大正十一年）の二月早々のこと私は北海道帝國大學で卒業論文を提出後、[illegible]學教室の書架で本を漁つていると、ふと目についた獨逸語の本があつたので開いて拾ひ讀みしてみると、私の卒業論文と同じ題目がふと目についた。讀んでみると、自分が約二年がかりで考え悩んだ問題が何んの苦もなく明快に論斷されているのであつた。私は驚嘆の眼を以つてその本を改めて見た。

それが理論經濟學の本質と主要內容（一九〇八年）であり、著者は J. Schumpeter、序文では著者はカイロ在住の人としか知られなかつた。私は早速この本を借り出し、辭書と首つ引で讀んでいつたが、讀めば讀むほど議論の明確さに感銘すると共に、提出したばかりの自分の卒業論文の貧弱さが情けなくなつてしまつた。これが私がシュムペーターの名を知つた最初の因縁であつた。

その年の夏、私はボン大學に入り、アイツェル、シュピートホフ、マンスチッア三教授の講義を聽いた。

私は何んでも十四、五の質問の材料をとりまとめて銀行へ訪ねていつた。階上の廣い部屋に通されると、そこは銀行頭取の事務室ではなく、學者の書齋そのものであつた。中央のテーブルの上には、經濟學者の專門雜誌が山積していた。一番上に英國のエコノミック・ジャーナルが數冊置かれてあつたのは印象的であつた。

私が自己紹介として、三浦[illegible]ボンでアイツェル、シュピートホフ、マンスチッアの三教授の講義を聽いて來たということを述べるとシュムペーター先生の態度は初對面のかたくるしさは微塵もなく永年の知己のように打ちとけて、今のオーストリアには理論經濟學を志す學生はほとんどいないと嘆息し、私の幼稚な質問にも懇切を極めた解答を與へてくれた。それは快刀亂麻を絶つような明快さであると同時に後進學生に對する温情親切のこもつた說明ぶりであつた。

豫期以上の收穫の後で、私は先生の剛毅な著書を是非どうしても入手することが出來なかつたと訴へると、それはこのウインでもめつたに見つからないだらう。再版するなら絶版的に書き直さなければならない。もし讀む氣なら、「經濟發展の理論」の校正刷なら手許にあるから貸して上げよう。明日にも君の宿へ屆けさせよう、と言はれた。その上ダイナア、マイヤア、ミーゼス三教授に紹介の名刺を書いてくれた。

翌日、銀行からの使の者が新聞紙に包んだ校正刷を屆けて來た。校正刷と言つても、校正が完了して、製本にまわす前の見本刷りであつた。私はその見本刷を讀んでは時々、銀行へ先生を訪れ、數々の質問をした。

ウインの夏はこうして過ぎて行つたが、ある日の散歩の折りにふとのぞいた古本屋で思ひがけなく、「理論經濟學の本質と內容」を見つけた。

表紙の裏には「絕版！」と鉛筆で書かれてあつた。先生にそのことを話すと、非常に幸運な學生だ。このウインでそれを見つけるとは、實に珍しいことだ。私の手許にもないのに、と言つて驚ろいていられた。

私は半年をウインで暮らして歸國の途につくため先生に暇乞をした。その後、ボンのアイツェルに先生が招聘された後、シュムペーター先生はボンに招かれボン大學の教授として教壇に立ち、經濟學部長となつた。それから先生は米國のハアヴァード大學やコロンビヤ大學に招かれて講義をしたが、一九三一年（昭和六年）の一月に日本を訪れて、東京帝大、京都帝大、神戸商大[illegible]で講演や講義を行ひ、又長時間にわたる研究討論に壯氣多數の論客を相手として、縱橫たる指導振りを示した。いさゝかの疲れも見せず、相手の言說の容るべきは寛大に受け入れ、然かも自己の主張は毅然としてこれを侵すを許さないといふ毅然たる態度で終始一貫していた。

この時の先生の風貌は高田保馬博士の隨想にありありと描寫されている。

神戸の Top Hotel での晩餐會の如きは、午後の講演後、十數名の教授たちと、討論の席が設けられ、サロンに退いてからも十二時頃までも討論が續いた。質問者自身の立場に身を置いて共に考へて行こうとする溫厚な人格と、學問的思考の不明確さを許さぬといふ精緻的な旺盛な思考力とを持つていた。二十四才で「理論經濟學の本質と主要內容」を世に問ひ、二十七才で「經濟發展の理論」を發表した先生の生命力は、經濟學研究者として非常に優れていたばかりでなく、教師としてはまた比類少ない人格者であつた。

神戸商大教授團の招待晩餐會で或る教授はテーブルスピーチで次のように述べた。「我々はシュムペーター教授の高名を聞くこと久しく、その名聲の發展から察してひそかに如何にいかめしい學者、嚴格を顔に表わしている教授であろうかと想像していました。しかるにこの想像は見事に外れてしまいました。」この晩餐に、先生は[illegible]、顔を柔らかに綻ばせて大笑ひをされた。先生はこの時まだ四十六才であつた。また他の或教授は、「シュムペーター教授は理想的な大學教授だ」と私に云つていた。私にはこの言葉の意味がよく判る。學問研究に對するひたむきな熱情、純學理への追求と共に、自己の學理に對する自信と限界、他人への寛容と同時に[illegible]に對する嚴正、惱む人に接する溫情と親切、流暢な話術。これら一言で盡せば誠實な人の持つ魅力。これが私の亡き師に對する追憶の心緒である。（終）

シユムペーター教授（左から二人目）とそのサイン、右から二人目は早川教授、一九三一年神戸商大にて。

記錄

松尾正路

最大の不幸にも
耐えてゆく力は
どこか怪物に似てゐる

乞食に施すよりも
一片のパンを
友に與へる愉しさ

社交における紳士實は
多くの場合
不幸な自尊心にすぎない

吾々が最も冷靜な
精神狀態にあると信じ
判斷力が鋭く
吾々の理性や
それは特殊な
冴えてゐるやうな時にも
感動の狀態であつて
後になつてから
深い疲勞を感ずることがある

崇高なる理性の下に
狂氣の沙汰を演ずる人物は
ロシヤ文學の特產物に
なつてゐる
靈魂が、

不誠なる故にではなく
人間は
死すべきものなるが故に
ソクラテスは
惡すべきところなく死んだ
といふ
宗教的にも哲學的にも
人間は死ぬことが
できるのであらう
しかし、子供は？

僕は理性に
從つたつもりでゐた
一つの口實に
すぎないところの理性に

絕對の
孤獨などあり得ない
僕の知つてゐる男は
一人で
山道を歩くときでさへ
刀を振つて歩いてゐた

詩人の前では
散文家にすぎず
散文家の前では
詩人だと思つてゐる

彼が天才であるか
どうか僕は知らない
とにかく
いちばん厄介な自由は
自分の天才を
信ずる自由である

あの男は馬鹿だ
といふことは
その男のどこかに恋愛心が
缺けていることだ

裸體になつてゐる宮人は
人が見るほど
裸體になつてゐる
とは思つていない

善良とは泥棒が
紳士を裝ふことではなく
僕の考へでは
善良とは
誠實ならざるものを
誠實らしく裝ふ
ことにつきる

人は
しばしば誠實である
誠實ならざることを
怖れるのあまり
誠實、あゝ、僕はいつ
誰のために
誠實だつたらうか！

意志の弱い者は
誠實であることさへ
できない
といふ
しかし誠實の場所に
愛を置換へてみると

意志の弱い者は
愛することさへ
できないとなる
また愛のかはりに
信を置いてみる
意志の弱い者は
信ずることさへ
できない

さらに
意志の弱い者は
考へることさへ
戯ぶことさへできない・
できるのは
怠けることだけである

一つの思想を持つ
怖るべき權利は
同時に
世界には餘り多くの思想が
ありすぎるといふ
不便にぶつかつてしまふ

僕の友人は
貧困は天に近し、されば
死を距ること少し
といつて自ら慰めてゐる
貧困はなぜ天國に近いのか
きいてみると
腹が減ると
それだけ輕くなるから
といつてゐた

汝は言葉に
耐えしことありや？
汝の良心の大きさを
僕に見せたまへ

良心は
小さいほど
良心的に見える

死を選ぶよりも
生を選ぶことの方が
遙に困難である

シネマの本當の修身
潔白な映寫幕
心のなかに
一人、立つてゐる
その僕もやがて
消えてしまふ

彼は、自尊心のあまり
無私慾となつた

子供らの最大の悲劇が
時には
そんなふうに見えるやうに
人間の
どんな大きな深い悲劇も
神様の目には
無邪で可愛らしく
見えるかも知れない

悲哀は
隠すほど、深くなる
[illegible]の悲哀は
それが
回復したといふことである

わづかな收入で
六人の家族を養つてゐる

JAシュンペーター

（一八八三―一九五〇）オーストリヤ學派、代表者の一人、ウィーン大學卒業後、グラーツ大學、チェルノヴィッツ大學の教壇に立ち、一九一九年、オーストリアの大藏大臣として第一次大戰後の財政難にあたり、二十一年にはウィーン、ビーダーマン銀行頭取となり、後ドイツ、ボン大學の教授となつたが、ナチスの擡頭をのがれて、アメリカに渡り、ハアバート大學ハアヴァード大學で教壇に立ち續け、米國市民權を有していた。本年一月八日コネチカット州タコニツク市の自宅にて永眠。

…◇…◇…◇…

オーストリア學派に屬するとは言え、彼は數理經濟學派（レオン、ワルラス、アルフレッド、マーシャル、クラーク）の強い影響を受けてゐる、抽象學說としてのオーストリア學派はむしろ彼に終ると言ふべきである。

靜態論に於て、一切の因果的理論を均衡概念から說明するまでに徹底し、均衡はあたへられたものとして、均衡的諸要素の相互依存關係が中心となる。こゝに純形式的機械的な靜態經濟學が位置づけられ、それに對應して、經濟生活のあらゆる分野に、新しい結合を生じて發展する資本主義經濟を長期的に、即ち動的に觀察するものとして動態經濟學が置かれる。賃金、信用、利潤、利子、の如き現象は後者によつてのみ取扱ひうるとされるのである。

（編輯部）

（主要な著書）

理論經濟學の本質と內容（一九〇八）

經濟發展の理論（一九一二）

Theory of business cycles（1939）

Capitalism, Socialism and Democracy（1942）

あたゝかい日が續いて……ぐんとへつた雪の山
それでも　空はどんより重くにごつてゐる…

會計と會計學との發展

木村重義

企業會計にとつて、此頃、めざましい發展の外的條件のいくつかが備わりつゝある。その第一の特徵は公認會計士の新制度にみられる。この新制度それ自體はまだ企業會計の實務に直接に關係を生じてはいないが、公認會計士は從來の計理士よりも一層權威あるプロフェッションであつて、その最重要業務である會計監査の仕事を通じて、彼等は會計實務を改善する役目をもつことは當然に考へられる。公認會計士の試驗はなか／＼むづかしいが、それは公認會計士たり得たものゝ實力と地位の確立を保障するに足る收入とに[illegible]必要な[illegible]の試驗のむづかしいのも私は非難しない。いづれにせよ會計學を學ぶ學生はこの公認會計士の制度とその資格試驗とにもつと關心を有つてよいと思ふ。

會社會計は商法と稅法との改訂、證券取引法の全面的發動によつて現實の發展に一段と飛躍するであらう。この場合の最も重要なものは、たとえば株式會社の財務諸表の作成法等の要點が規定され、それに加えて公認會計士の監査が必要とされるというようになるであろう。そしてその財務諸表の作成法や監査基準はすでに公表された經濟安定本部、企業會計制度對策調査會、中間報告の企業會計原則にその輪郭が見られる。新稅系の稅法中、會計に關する事項の大幾もその新稅法案の國議決定に關する新國稅法案內容から知られた。そしてすでにいわゆる青色申告書提出に必要な個人と法人との會計方法の最低要件は公表されている。新稅制下において稅務署が正常な會計記錄とみとめる會計方法は特定の最低條件のほかは、たとえば帳簿の種類、强制的に規定しなかつた。聞くところによれば、そのような詳細な規定をすることは會計學の進步を停止させるから望ましくないという會計學者たちの意見が容れられたのであるという。

「法人稅等規定の會計に關係ある部分を見ると、常に比して、法律が經營者の自由と會計學の結論とを尊重していることがよく見られる。たとえば減價償却費の決定法に會計學上の合理的方法とみとめられるいくつかの方法がある場合、會計主體が自らそのいずれを適當とするかの選擇にまかせて、それを稅務署は認めるのである。しかし一旦選んだ特定の方法を理由なしに變更することは當然みとめられない。」これは會計原則でもあつて、繼續性の原則と稱せられる。

有價證券投資における大衆の保護を目的とする企業會計の公開、納稅者の會計の[illegible]、[illegible]會計の發展の明るいシグナルである。シャウプ使節團の日本稅制報告書もまた日本の會計および會計士制度について重大な關心を示し（殊にその附錄のＥ・１およびＥ・２參照）、たとえば「會計學の特殊の課程を設けている大學およびその他の機關は、學生達にできるだけ最高の訓練をあたえるために、その教程と內容とを再檢討しなければならない。理論的、實用的の双方の見地から近代的な技術に立脚したように、あらゆる努力が必要である」と述べているが、我々においてもこの點、一層の考慮すべきものがある。

會計理論の研究については、前述の企業會計原則の公表により新しい刺戟を受けた觀がある。その設定が證券取引法施行上から必要であるとされたことから見れば、たしかに會計の實際問題の急速が産み出したものであるが、それはいま急に創り出されたのであつて、會計實踐上の特定の要求以前に、また會計に關する法的規定以前に、會計原則は實在しているのである。その後、かつてのように公的規定の註解のうちに會計學が形成し、かつての「原價計算要綱」に關連した外見上の原價計算論の陥穽のように、基本理論の問題を忘れ去つたような方向に走ることが警戒されなければならない。細微な點にまで行屆いた成文規定を求めて原則を徒々細緻化へと追いやり、原則論は簡明化へという當然の方向に逆行しないよう心配すべきである。それはともかく、「アメリカ會計および會計學」の甚大な影響の下に、ドイツのそれの影響下にあつた場合よりは、原則論においても實際的な發展をなしつゝあることは、他の科學の分野においても見られる事ではあろうが、この場合、會計學の學問としての性格がしからしめるとも言えるが、またまことに興味あることである。

部員募集

一、經部員スタッフを強化するため經專三年及び新商大二年より左の要領で部員を募集する

一、募集　論說委員　二名
　　　　　編輯委員　一名

なほ具体的な事はおつて發表する

編輯後記

どうやら二百十七號も日の目を見る事になつた。今年度第八號にあたる譯で[illegible]あたい所。これで三月からは[illegible]スムーズな發刊と先づ／＼期待の第三種が認可される事は先づ間違ひなしてある。今號は學年末の事とて部員も仲々忙しく[illegible]若し何處かへに[illegible]てある。母校京大に榮轉される小林教授から最後の寄稿を頂いた事は忘れ得ぬ事である。實に多忙な所を快く執筆下さつた木村教授、だしぬけの無理な注文をかなへて大切な貴重な原稿を與へて下さつた早川教授、半ば强引に原稿をいたゞいた松尾教授等に厚く感謝の意を表さねばならない。編輯部は投稿者の諸君の投稿が倍增加して居るが、二年生、[illegible]諸君の投稿も[illegible]ある。編輯部が整理に忙殺される位だいに「緑丘」を活用して頂きたいと思ふ。「丘の聲」は非常部の横の投書箱に入れてくれる様何度も頼んであるが仲々入つて居ない。色々な都合があるからであろう。何でも良いから氣のつくまゝに投書してほしい。なお之に加へて緑丘會員も讀けてある事故各地卒業生諸兄の寄稿も是非願ひしたい。（S）

緑丘會

緑丘會出張

今般新入會員歡迎會開催に就て恆例により昭和二十四年度卒業生の緑丘會新入會員歡迎會を開きます。

一日時　三月二日（木）午後三時
一場所　商工會議所
一會費　會員五拾圓（但賛會員）

一會券は各卒業年度代表委員より頒布いたします。御豫約の場合は當日會場にてお求め下さい。

當日は萬障お繰合せ御出席相成度紙上を以て御通知申上げます。

二月十五日
緑丘會
緑丘會々員各位

十勝支部便り

十勝支部長相澤正芳氏の發案[illegible]挙行會は、一月十五日帶廣市藤森食堂で會員二十三名が集まつて行はれました。伊藤拓銀帶廣支店長（大十卒）の挨拶の後、相澤氏から「緑丘」の名に於ても頑張つて來る[illegible]

★執筆者紹介★

小林　象三　本學教授
早川三代治　本學教授
松尾　正路　本學教授
木村　重義　本學教授

定期購買者募集

本號をもつて「第三種」の許可も再び下りることとなりました。この機會に部の新計畫を持續にうつたえたいと思ひます。現在丘も資金不足で惱んで參りましたが、月に一度の發行となると一ケ年百圓の購讀料では全く發行不能となります。しかしこれは購讀者の數の增加によつて克服出來るのです。この今が「緑丘」が發展しうるか否かの重大な時季であります。一人でも多くの方に購讀していたゞかねばなりません。緑丘會でも總會あり次第直ちに毎月發送する準備を整へました。支部等でまとめていたゞいても結構です。會費を拂はれた方でも購讀料は緑丘會費とは別でありますので、直ちに直接又は郵送振替をお願ひいたします。

一金一ケ年分　百圓

小樽商科大學　緑丘會
小樽市稻穗町五丁目
振替小樽三〇〇一番

若草物語

二十二日封切

小樽日活館

アテネ新書　B6判　上製美裝

ニヒリズム　西谷啓治
レジイト　ウェーバーとマルクス　柴田治三郎
ドイツ共產黨史　猪木正
セザンヌ以後　植田壽
トリツァンテース　サルトルとマルセル　安井源治
カトリシズム　ダーシー　吉滿義彦

弘文堂

日本評論社新刊重版

小泉信三著　經濟原論
杉本榮一著　近代經濟學の基本性格
鈴木圭介著　アメリカ經濟史研究序說
松田智雄著　イギリス資本と東洋
大内力著　日本農業の論理
戸谷敏之著　近世農業經營史論
大河内一男著　獨逸社會政策思想史
服部英太郎著　ドイツ社會政策論史
中村哲著　國法學の史的研究
末川博著　權利侵害論
河合榮治郎著　明治思想史の一斷面
加茂儀一著　ルネサンスとヒユーマニズム
松村一人著　唯物論と主体性論
石田憲次著　英國民性と文學

東京　新教出版社

ラインホルド・ニーバー著　基督教倫理　鈴木俊郎
共和の人アルベルト シワイツェル　基督教的焦點　小田切信男
ブルンナー著　我等の信仰　登張豊譯
信仰の論理　三谷隆正
武藤一雄、松田智雄、北森嘉蔵共著　キリスト者實存とマルクス主義

ドストエーフスキー覺書　森有正著　A5判美裝　價五〇〇圓
キエルケゴール　飯島宗享譯　現代の批判
シャートブリアン　田辺貞之助譯　キリスト教精髓
ヘーゲル　キリスト教の精神とその運動
内村鑑三　ヨブ記の研究

創元社